

公益財団法人 JFE21 世紀財団 2025 年度 アジア歴史研究助成 募集要項

1. 助成対象となる研究

「21 世紀アジアと共存共栄するための、日本の産業と文化の Vision 構築に資するアジア歴史研究」

アジアの各地域はいずれもきわめて複雑な歴史をたどってきた。その結果として今日の政治、経済、社会、文化状況がある。本研究助成は、歴史的経緯を踏まえながら現況を直視し、未来を考える研究を対象とする。また、アジア各地域と日本の関係についての歴史と記憶の研究も含む。なお、研究対象地域は下記の範囲とする。

北・東アジア(日本、朝鮮半島、中国、モンゴル、ロシアの一部)、東南アジア、南アジア～西アジア(中東)、中央アジア～カフカス地域

*実質的に既に完了している研究や、特定機関からの委託研究は対象外とする。

*上記条件に該当しない応募は、事務局判断で審査委員会に上申しない場合もある。

*助成研究は公開を前提とする。本財団にて助成研究報告書を発行し、本財団ホームページ(HP)で公開する。

2. 助成件数と助成金額

12 件(原則)、1 件あたり 150 万円、総額 1,800 万円

*助成金は代表研究者の所属する大学・研究機関に交付(指定銀行口座に 2025 年 12 月に振込)

*助成金の使途は、参考書籍・文書購入費、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金等で、研究室運営費、学会等開催費、論文印刷・書籍刊行費などは不可とする。

3. 研究期間 原則 1 年間 (2026 年 1 月研究開始、同年 12 月終了、2027 年 1 月報告書提出)

但し、1 年間を上限として延長を可とする。(その場合 2028 年 1 月報告書提出)

4. 応募資格

日本の国公立大学または公的研究機関に勤務(常勤)する研究者であって国籍は問わない。なおグループでの研究の場合、代表研究者以外の共同研究者は 3 名以内で、大学院生および外国の大学、日本の他の大学や公的研究機関に所属する研究者も可とする。2022～2024 年度の本研究助成を代表研究者として受領した者は、今回は代表研究者としての応募はできない。

5. 申請の手続き

本財団 HP の申請様式に(原則として日本語で)記入し、HP の申請画面から財団に送信する。

財団 HP <https://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始 4 月 14 日(月) : 締切 6 月 23 日(月)

*記入と送信の要領は申請画面に掲載、電子申請につき郵送は不可とする。

6. 審査・選考と助成研究(者)の公表

本財団委嘱の審査委員会による審査・選考を経て本財団理事長が決定し、9 月末に応募者に結果を通知の後、本財団 HP 等で公表する。

審査委員長	菊池 秀明	(国際基督教大学教養学部 教授)
審査委員	小松 久男	(東京大学 名誉教授)
	保坂 俊司	(中央大学国際情報学部 教授)
	三尾 裕子	(慶応義塾大学文学部 教授)

7. 助成受領研究者の義務と条件等

(1) 助成受領者は、本財団と「アジア歴史研究助成覚書」を締結

(2) 助成金の受領手続き(本財団所定の寄付申請書により大学・研究機関事務部に手続きを依頼)

(3) 研究終了後、研究成果報告書(公開前提)と会計報告書を提出

(4) 研究論文等において本財団から助成があった旨を記載すること

(5) 贈呈式への任意出席(代表研究者のみ)〈東京で 12 月 1 日(月)開催予定、出席費用は財団負担)

以上